



Check it please !

ヘッドフォンは
使用出来ますか？
機器の稼動確認を
お願い致します。




Check it please !

Webカメラは
使用出来ますか？
機器の稼動確認を
お願い致します。

サービス利用時必要な機器

ライブチャンネルをご利用する時、講師は、Webカメラとヘッドフォンが必要です。生徒の場合は、聞くだけなら、イヤフォンやスピーカーさえあれば問題ありませんが、生徒も画像を映したり、声を出す必要がある場合は、講師と同じくそれぞれの機器が必要です。

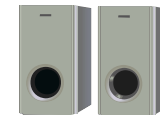
※機器は、Webカメラとヘッドフォンを推薦します。


 マイクとスピーカーを同時にご利用される場合、マイクとスピーカーが影響しあうことでハウリングが起きる可能性が高いです。この問題を避けるには、ヘッドフォンのみをご使用下さい。

 推薦



 推薦



 ヘッドフォンは、マイク付きのヘッドフォンを意味します。

※本説明はWindowsXPで行われています。

Webカメラは正常に動いていますか？

【確認ステップ①】 Windowsで稼動されているかをご確認下さい。

「スタートボタン⇒設定⇒コントロールパネル⇒スキャナとカメラ」順で下記の画面を開いて下さい。

カメラがパソコンにつながっている場合、カメラ名が表示されます。

もし、表示されていない場合は、カメラの販売元や製造元にお問合せ下さい。

接続されているカメラを自動認識します。

ここをクリックして下さい。
※メーカーによって名前が異なります。

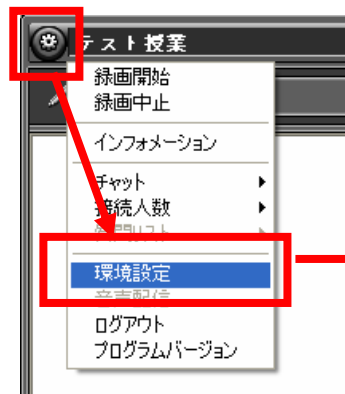
カメラが正常に接続中なら画面が映し出されます。

※注意、カメラ2台を同時利用する場合（カメラとカメラ黒板）は、異なる機種でご利用下さい。同機種又は同名称の場合は正常に稼動しません。
「#3」のように「#番号」は名称ではありませんのでご注意ください。

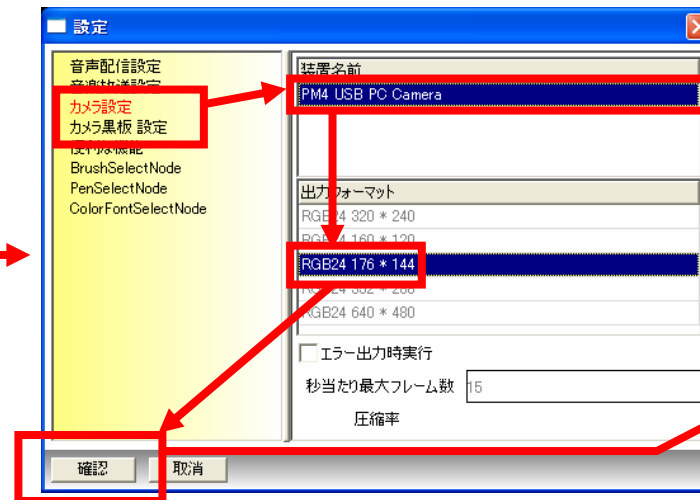
Webカメラは正常に動いていますか？

【確認ステップ②】 Windowsで認識されていることが確認出来ましたら、ライブチャンネルでの設定を確認します。

ライブチャンネルを起動します。



メインボタンをクリックしサブパネルの環境設定を選択して下さい。



環境設定パネルの中からカメラ設定を選択しますと認識されているカメラが表示されます。選択されていることが確認出来たら確認ボタンをクリックします。
※カメラ黒板設定も同様に設定して下さい。

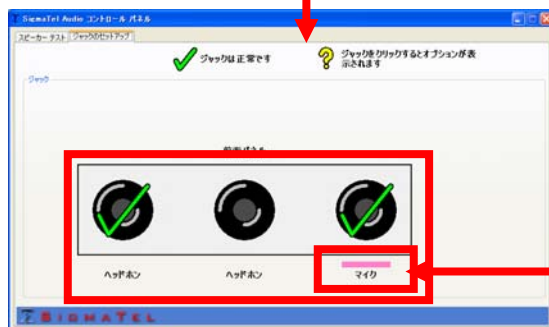
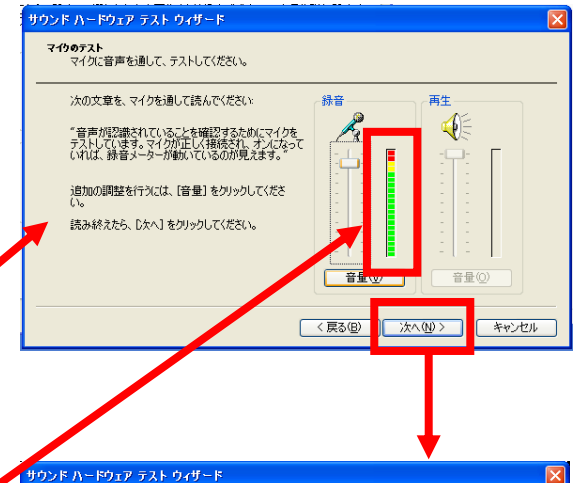
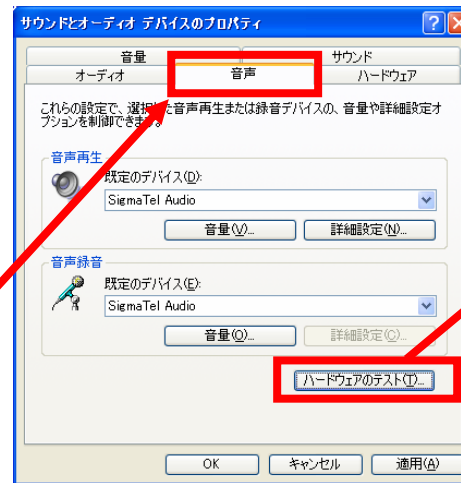
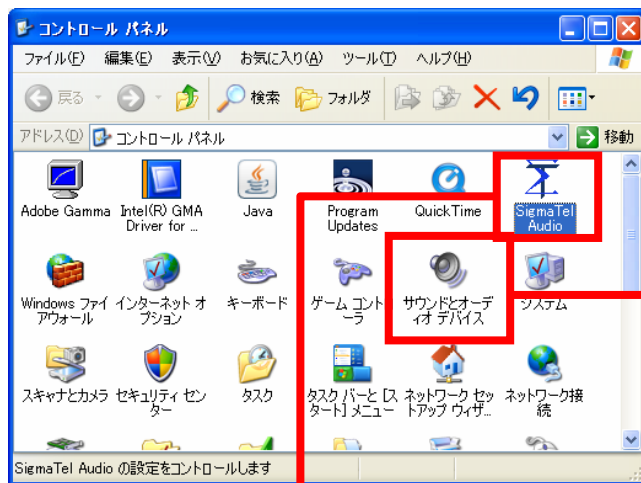
画面の右上のカメラをクリックすると画像が映し出されます。



マイクは正常に動いていますか？

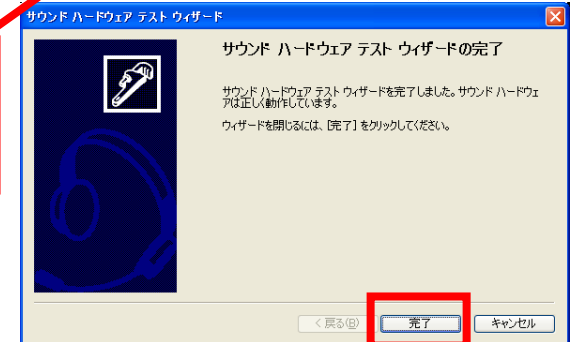
【確認ステップ①】 Windowsで稼動されているかをご確認下さい。

「スタートボタン⇒設定⇒コントロールパネル⇒サウンドとオーディオデバイス」順で下記の画面を開いて下さい。
マイク付きのヘッドフォンがパソコンにつながっていることをご確認下さい。



ヘッドフォンが正しく接続されている場合、マイクの音声によって音量目盛が動くことを確認出来ます。

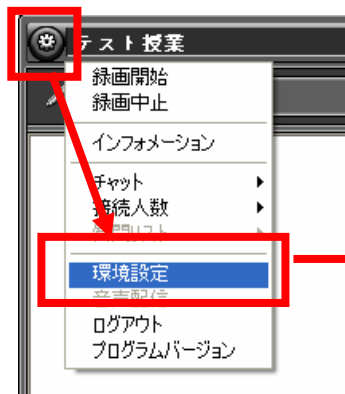
独自のサウンドデバイスを利用される場合、サウンドデバイスがマイク設定されていることをご確認下さい。詳細設定は機器販売元にお問合せ下さい。



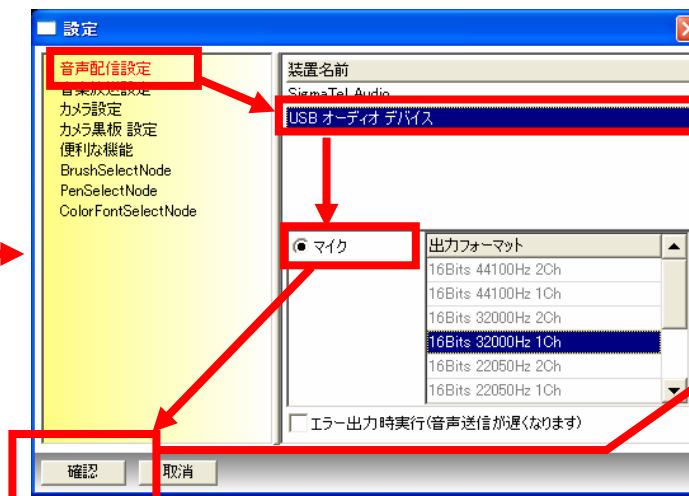
マイクは正常に動いていますか？

【確認ステップ②】 Windowsで動作確認が出来ましたら、ライブチャンネルでの設定を確認します。

ライブチャンネルを起動します。



メインボタンをクリックしサブパネルの環境設定を選択して下さい。



環境設定パネルの中から音声配信設定を選択しますと認識されているヘッドホンが表示されます。詳細指定では、マイクを指定して下さい。

画面の右上のミュートを音声配信に切り替えて下さい。



音声が流れますと音量目盛が変動すると大丈夫です。
※自分自身の声が聞こえる場合は、黄色のスピーカーをオフ（灰色）にして下さい。





ご使用パソコンの推奨スペック


ライブチャンネルが稼動する時は、動画情報、音声情報、黒板情報、文字情報など様々な情報を同時に配信し、画面と声はずれないように同期化処理を行っています。その為、高性能のパソコンをお使い下さい。

■ パソコンおよび回線性能基準


	講師		生徒	
	動作環境	推奨環境	動作環境	推奨環境
OS	Windows XP/Vista/7		Windows XP/Vista/7	
CPU	2GHz以上	2GHz以上	1.3GHz以上	2GHz以上
メモリ	1GB以上	2GB以上	1GB以上	1GB以上
接続環境	ADSL以上の帯域	光ファイバー	ADSL以上の帯域	光ファイバー
ブラウザ	InternetExplorer6.0以上		InternetExplorer6.0以上	
サウンドカード	Sound Blaster互換を推奨		Sound Blaster互換を推奨	

 パソコンの性能や回線が基準以下の場合、操作が鈍くなったり、音声が早送りになったり、音声のトーンが上がったりなどの現象が起りやすくなります。尚、性能が基準以上の場合でもセキュリティ対策ソフトなどのアプリケーションが動くことにより、同じ現象が起きる可能性がありますのでご注意下さい。

 生徒が講師と同じく動画を配信したりする場合は講師と同様のパソコンスペックが必要になります。

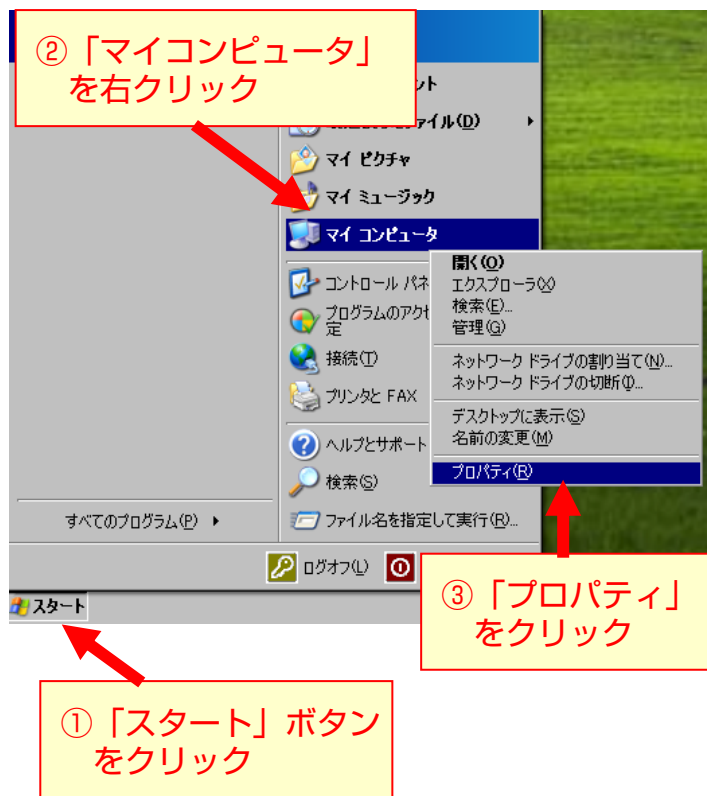
 生徒の場合、受講のみなら無線LANのご利用も可能です。

 WindowsXP 64ビットは、除外です。

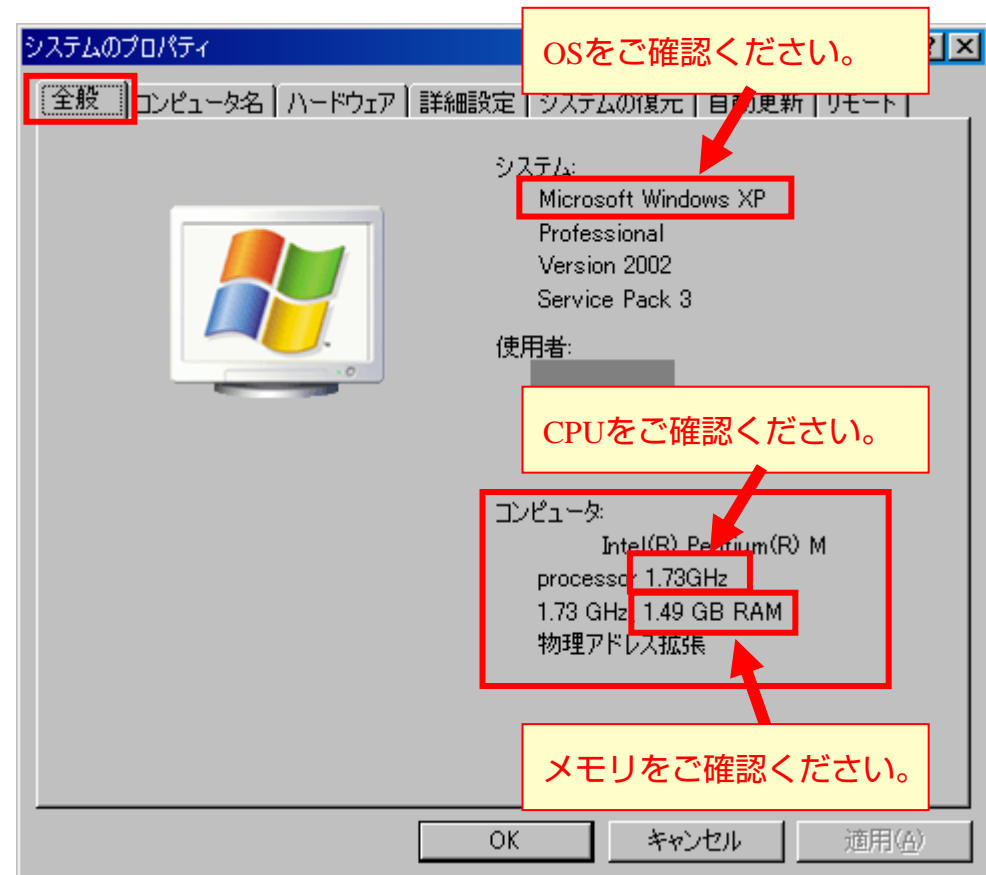
 利用者のインターネット回線がベストエフォート方式の場合は、必ずしも品質が保証されるわけではございませんのでご了承ください。尚、ネットワークを社内で共有したり、重い情報をダウンロードやアップロードしたりする場合も品質が保証されませんのでご了承ください。

パソコン環境は、「システムのプロパティ」ダイアログボックスでご確認いただけます。

■「システムのプロパティ」の起動方法



■「システムのプロパティ」の見方



パソコン環境の情報を収集するツールをご紹介します。

ご利用のパソコンの動作環境がわからない場合にご利用下さい。

2010年3月末日時点では、ご紹介いたします下記のツールは無料でご利用いただけます。

詳しい情報等は、各開発元の情報をご参照下さい。

※Internet Explorer 6.0以上でお試し下さい。

チェックツール

ツール名	機能	開発者情報
cpuz	CPUやマザーボードなどのメインデバイス情報が表示できるツールです。	http://www.cpuid.com/cpuz.php
PCView	コンピュータ内の情報を収集、表示するツールです。	http://homepage2.nifty.com/smallroom/
タスク・マネジャー	Windowsに付属している基本機能としてシステム使用状況が把握出来るツールです。	http://www.microsoft.com/

cpuzを使用してPC環境を調べる①

開発元 (<http://www.cpuid.com/cpuz.php>) の案内にしたがい、ツールをインストールして下さい。
インストールが完了しましたら、以降のチェック項目がライブチャンネルの動作環境に適しているか、ご確認下さい。

① CPUを確認して下さい。

推奨: 1GHz以上推奨

The screenshot shows the CPU-Z application window with the 'CPU' tab selected. The 'Specification' field is highlighted with a red box and contains the text 'Intel(R) Pentium(R) M processor 1.73GHz'. A red arrow points from the instruction box on the left to the 'CPU' tab.

Processor			
Name	Intel Pentium M 740		
Code Name	Dothan	Brand ID	22
Package	Socket 479 mPGA		
Technology	90 nm	Core VID	1.356 V
Specification	Intel(R) Pentium(R) M processor 1.73GHz		
Family	6	Model	D
Ext. Family	6	Ext. Model	D
Stepping	8	Revision	C0
Instructions	MMX, SSE (1, 2)		

Clocks (Core #0)		Cache	
Core Speed	1729.0 MHz	L1 Data	32 KBytes 8-way
Multiplier	x 13.0	L1 Inst.	32 KBytes 8-way
Bus Speed	133.0 MHz	Level 2	2048 KBytes 8-way
Rated FSB	532.0 MHz	Level 3	

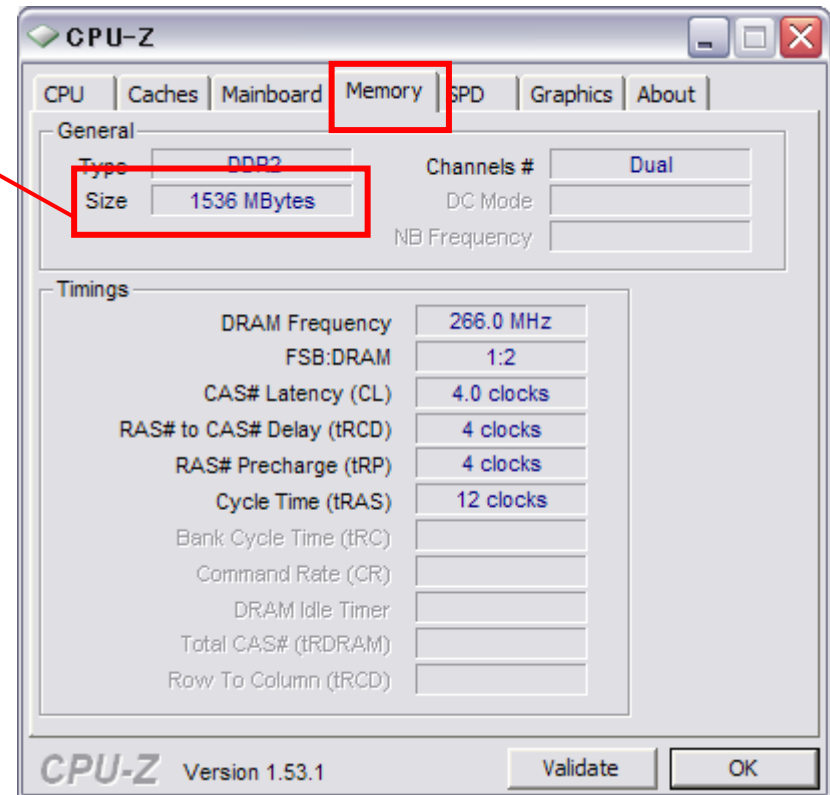
Selection: Processor #1 Cores: 1 Threads: 1

CPU-Z Version 1.53.1 Validate OK

※V1.53.1のキャプチャになります。

cpuzを使用してPC環境を調べる②

- ② メモリの空容量を確認して下さい。
推奨: 1GB(1024MBytes)以上



※V1.53.1のキャプチャになります。

PCViewを使用してPC環境を調べる①

開発元 (<http://homepage2.nifty.com/smallroom/>) の案内にしたがい、ツールをインストールして下さい。
インストールが完了しましたら、以降のチェック項目がライブチャンネルの動作環境に適しているか、ご確認下さい。

- ① windowsのOSのバージョンを確認して下さい。

推奨： Windows XP/Vista/7

- ② メモリの全容量を確認して下さい。

推奨： 1GB(1,048,576KB)以上

- ③ メモリの空容量を確認して下さい。

推奨： 512MB(524,288KB)以上

※同じPC上で起動しているアプリケーションが多い場合、又は、メモリを大量に使用しているアプリケーションがある場合は終了して下さい。

物理メモリ	全容量	使用量	空容量
物理メモリ	1,564,028 KB	995,176 KB	568,852 KB
ページファイル	2,184,352 KB	987,004 KB	1,197,348 KB
システムHDD	41,945,712 KB	26,564,040 KB	15,381,672 KB

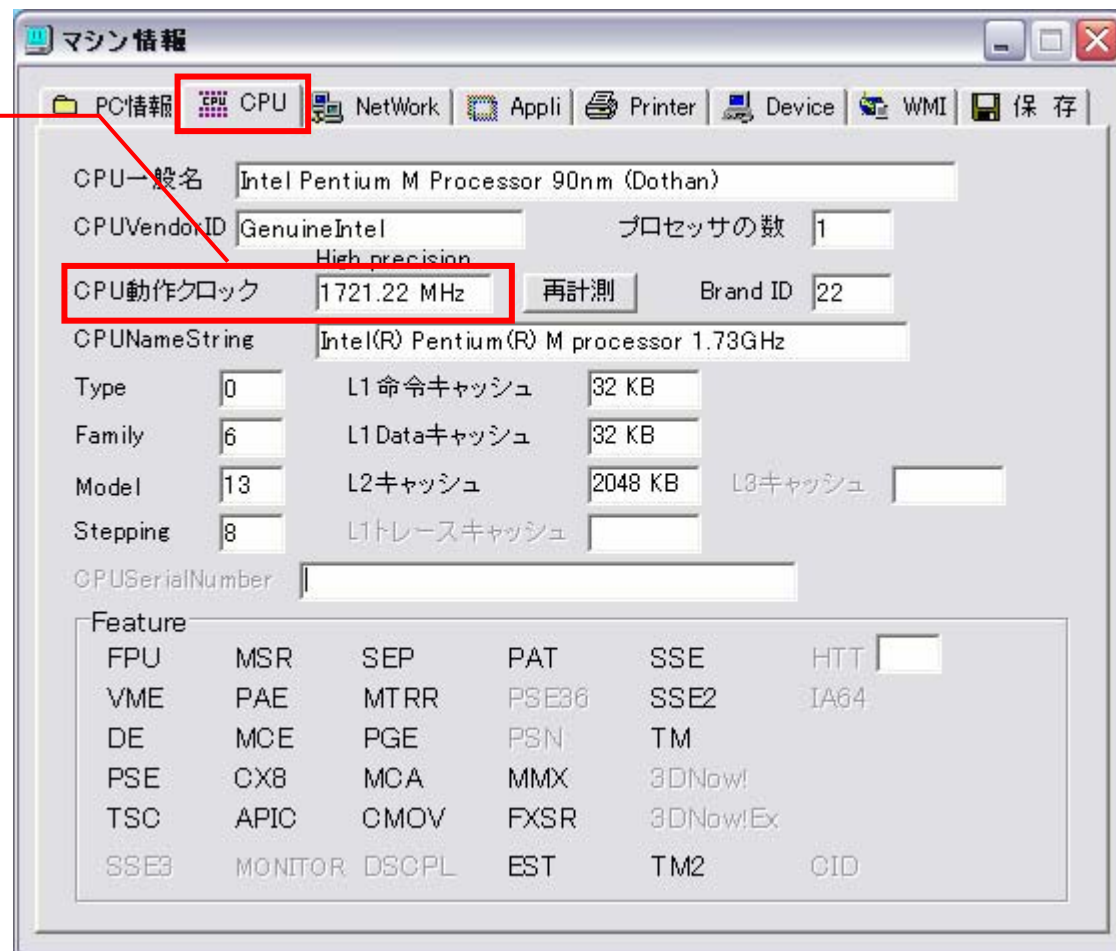
ドライブ情報DiskType	全容量	空容量	FileSystem
C:Hard Disk	41,945,712 KB	15,381,672 KB	NTFS
D:Hard Disk	55,665,192 KB	32,229,028 KB	NTFS
E:CD_ROM	-	-	-
F:CD_ROM	-	-	-

※V0830のキャプチャになります。

PCViewを使用してPC環境を調べる②

③ CPU動作クロックを確認して下さい。

推奨：1024MHz以上推奨

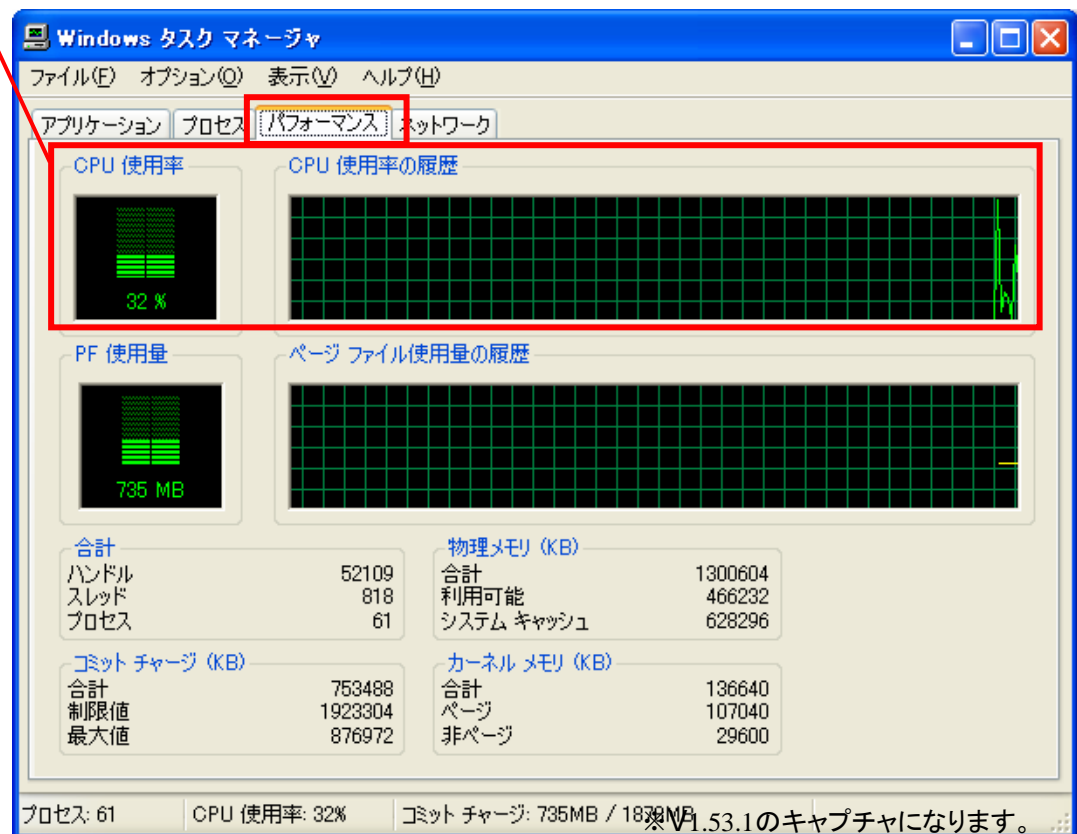


※V0830のキャプチャになります。

タスク・マネジャーを使用してPC環境を調べる

Ctrl+Alt+Delキーを同時にクリックし、「タスクマネジャー」をクリックします。

推薦CPUのパソコンであることを前提で
ライブチャンネルを起動していない状態で、
CPU使用率が30%を超えていない状態
であることをご確認下さい。



※Win1.53.1のキャプチャになります。